

---

## 『東西南北』終刊の言葉

和光大学総合文化研究所は2016年3月をもってその活動を終了し、4月からはあらたに発足する地域連携研究センターに引き継がれます。本誌『和光大学総合文化研究所年報——東西南北』も本号をもって終刊となります。

本誌は総合文化研究所設立の1995年より2年前の1993年から刊行を開始し、別冊4冊を含めて延べ28冊が刊行されました。その内容は、当初年1回開催される研究所主催の公開シンポジウムの記録をメインに、研究プロジェクトの成果として報告される論文などからなりました。その後、ややジャンルを拡大して、プロジェクトの研究結果以外の単独論文や特別研修員、学生の論文、所員の新聞書紹介なども掲載してきました。この年月の間に所員＝和光大学教員たちの顔ぶれも入れ替わり、研究活動の内容や取り組み方にも、変わらぬ面と変遷してきた面とがあります。和光大学につどう研究者たちが共有してきた理想のひとつである「地域」を注視し、地域とともに課題を深めていく、という姿勢をよりいっそう明確に打ち出した新設の機関を拠点として、今後ともさらに有意義な研究活動が展開されていくことを期待します。

なお、既刊の本誌はすべて和光大学サイト内総合文化研究所のページから全文をお読みいただくことができます。

最後に、長い間、総合文化研究所研究員として、本誌の編集に尽力された内田正夫助教の多大なる尽力に感謝申し上げます。

和光大学総合文化研究所所長 山田 久

---